

～「スポーツ・エンターテインメントの力」を活用した街づくりを目指して～ 『JOC、JPC、JBA、JWRF とスポンサーシップ契約締結』 TEAM JAPAN を「街づくりパートナー」としてサポート

三井不動産株式会社(代表取締役社長:植田俊/以下、三井不動産)は、公益財団法人日本オリンピック委員会(会長:山下泰裕/以下、JOC)、公益財団法人日本パラスポーツ協会日本パラリンピック委員会(会長:森和之/以下、JPC)、公益財団法人日本バスケットボール協会(会長:三屋裕子/以下、JBA)、一般社団法人日本車いすラグビー連盟(会長:山野智久/以下、JWRF)と、それぞれ不動産開発における「街づくりパートナー」としてスポンサーシップ契約を締結しました。

当社は、2016 年から「スポーツの力」を活用した街づくりの旗印として「BE THE CHANGE」というスローガンを掲げ、これまでも「MIYASHITA PARK」や「LaLa arena TOKYO-BAY」など、スポーツの要素を盛り込んださまざまな街づくりを手掛けてまいりました。2024 年 4 月に策定した長期経営方針「&INNOVATION 2030」でも、「新たなアセットクラスへの展開」を事業戦略の一つとして掲げており、これまでに取り組んできた「スポーツ・エンターテインメントを活かした街づくり」をさらに加速させ、リアル体験価値を最大化することを目指しています。

当社は、2015 年 4 月に不動産開発における東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会(以下、東京 2020 大会)のゴールド街づくりパートナーに就任し、パリ 2024 オリンピック・パラリンピック競技大会(以下、パリ 2024 大会)においても、街づくりパートナーとして、「TEAM JAPAN」を街づくりで応援してきました。

多様性と調和、共生社会の実現を目指す JOC と JPC が掲げる理念や使命に共感し、引き続きパートナーとして「TEAM JAPAN」を支えるとともに、パートナー同士の連携による価値共創を推進し、さまざまな施策を通じて「スポーツ・エンターテインメントの力」を活用した街づくりに取り組んでまいります。



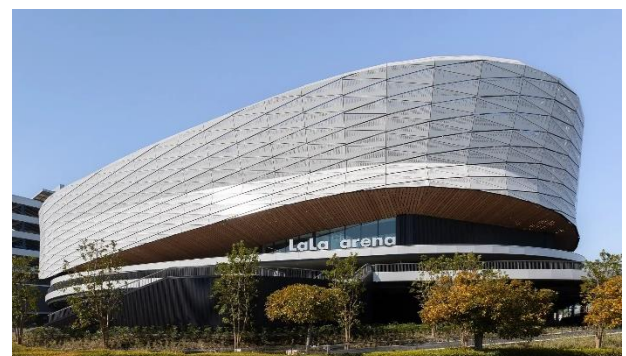
パリ 2024 オリンピック・パラリンピック
 TEAM JAPAN 応援感謝イベント



日本橋シテイドレスシング 2024



がんばれ！スタジアム



LaLa arena TOKYO-BAY

スポンサーシップの概要

①契約スポーツ関連団体及び契約概要

団体名	契約期間	契約プログラム	呼称	エンブレム・マーク
JOC	2025 年 3 月から 2028 年 12 月	TEAM JAPAN パートナーシッププログラム 2025－2028	TEAM JAPAN ゴールド街づくりパートナー JOC ゴールド街づくりパートナー	
JPC	2025 年 3 月から 2028 年 12 月	TEAM JAPAN パートナーシッププログラム 2025－2028	TEAM JAPAN ゴールド街づくりパートナー JPC オフィシャル街づくりパートナー	
JBA	2025 年 3 月から 2029 年 3 月	オフィシャルパートナー	JBA オフィシャル街づくりパートナー	
JWRF	2025 年 4 月から 2029 年 3 月	トップパートナー	JWRF トップ街づくりパートナー	

②個人契約選手

	競技	スポーツクライミング
	氏名	野中生萌選手
	出身地	東京都
	契約期間	2025 年 3 月から 2026 年 12 月
	主な戦績	東京 2020 大会 女子複合 銀メダル パリ 2024 大会 女子複合 2 大会連続出場 2025 年 ボルダージャパンカップ 2025 優勝 2024 年 IFSC アジア選手権 ボルダー 準優勝 2024 年 ボルダージャパンカップ 2024 準優勝 2023 年 IFSC ワールドカップボルダー韓国大会 優勝 2022 年 IFSC ワールドカップボルダー年間 準優勝

「スポーツ・エンターテインメントの力」を活用した街づくりの紹介

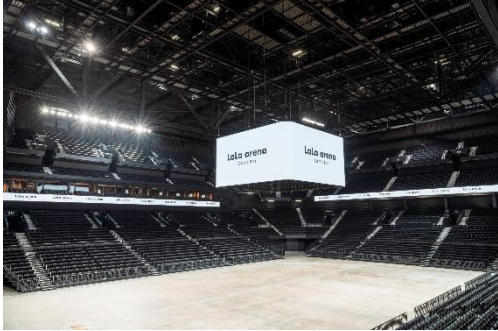
①MIYASHITA PARK

所在	東京都渋谷区神宮前 6-20-10
最寄り駅	JR 山手線・埼京線・湘南新宿ライン、東京メトロ半蔵門線・銀座線・副都心線、東急東横線・田園都市線、京王井の頭線 「渋谷」駅 徒歩約 3 分
構造規模	渋谷区立公園 商業棟 南街区 鉄骨造・1 階～4 階 北街区 鉄骨造 鉄骨鉄筋コンクリート造 鉄筋コンクリート造・1 階～3 階 ホテル棟 鉄骨造・4～18 階(240 室)
敷地面積	約 10,740m ²
延床面積	約 46,000m ²
開業	2020 年 7 月
スポーツに関する取り組み	公園の南街区には、従前より区民や来街者に親しまれてきたスケート場やボルダリングウォールに加え、多目的運動施設(サンドコート仕様)を設置し、誰もが気軽にスポーツを楽しみ、交流できる場を提供。北街区には様々なイベントも開催できる約 1000m ² の芝生ひろばを整備。
写真	

②三井ショッピングパーク ららぽーと福岡

所在	福岡市博多区那珂 6 丁目 23-1 他
最寄り駅	JR 鹿児島本線「竹下」駅徒歩 9 分
構造規模	店舗棟 鉄骨造地上 5 階、地下 1 階建 立体駐車場棟 鉄骨造地上 7 階建 2 棟ほか
敷地面積	約 86,600m ²
延床面積	約 206,500 m ²
開業	2022 年 4 月
スポーツに関する取り組み	広大な屋上には、200m 陸上トラックやテニスコート、3x3 のコート有する「スポーツパーク」や、フットサルコート 3 面を有する「フットボールパーク」とともに、施設全体で約 12,000m ² 規模のスポーツの拠点を形成。なお、「スポーツパーク」には広々とした人工芝エリアを設けるほか、スポーツや映画・音楽コンサートなどのパブリックビューイングが開催できる大型 LED ビジョンも設置し、幅広い楽しみ方が可能。
写真	

③LaLa arena TOKYO-BAY

所在	千葉県船橋市浜町2丁目5
最寄り駅	JR 京葉線・武蔵野線「南船橋」駅 徒歩約6分
構造規模	鉄骨造・地上4階建
敷地面積	約20,000m ²
延床面積	約31,000m ²
開業	2024年5月
スポーツに関する取り組み	バスケットボールプロチームがホームアリーナとして利用するほか、音楽コンサート、スポーツイベント、企業の展示会など様々なイベントに対応可能な施設。なお、本アリーナの名称は三井不動産・三井不動産商業マネジメントが管理・運営する商業施設「三井ショッピングパーク ららぽーと」などに共通する、楽しさを表す「らら」のネーミングを継承し、「LaLa arena TOKYO-BAY」とした。
写真	 

パリ2024大会関連での主な取り組み

① 日本橋シティドレッシング

主催	三井不動産
開催年	2015年、2016年、2017年、2019年、2021年、2024年
会場	中央通りを中心とした日本橋室町エリア一帯
企画内容	JOCエンブレムやアスリートの肖像を用いた大型グラフィック等を掲出して街全体をドレッシングし、パリ2024大会に挑戦するTEAM JAPANを応援する取り組み。
写真	 

② がんばれ！スタジアム presented by 三井不動産

主催	三井不動産
開催年	2024 年
会場	COREDO 室町テラス
企画内容	オリンピック競技に用いられる器具をモチーフにした全 13 種の巨大なアスレチック施設が日本橋に登場。巨大アスレチックでの遊びを通して、幼児期からの運動習慣形成・健康増進に貢献するとともに、オリンピック、TEAM JAPAN について興味を持ち応援するきっかけを提供するイベント。
写真	 

③ 三井不動産スポーツアカデミー

主催	三井不動産
開催年	2016 年、2017 年、2018 年、2019 年、2020 年、2021 年、2022 年、2023 年、2024 年
会場	東京ミッドタウン、三井ショッピングパーク アーバンドック ららぽーと豊洲、日本橋三井ホール 他
企画内容	三井不動産が運営する「東京ミッドタウン」や「ららぽーと」など全国の商業施設で一流アスリートを講師に招いて開催する1Day のスポーツ教室。アスリートと直接触れ合う体験を通して、地域に住む子どもたちをはじめ、多くの人たちをつなぎ、街のコミュニティを活性化させ、それをレガシーとして未来に承継していく取り組み。
写真	  

■「スポーツの力」を活用した街づくりのスローガン

BE THE CHANGE

一人ひとりが変化そのものになろうという意味の「BE THE CHANGE」のロゴは、世界を変える「風」をモチーフにデザインされました。三井不動産のコーポレートカラーの二色で塗り分けられたエレメントは、「風に乗って飛び立つ鳥」をイメージしています。「人が変われば、世界は変わる」という思いから、掲げたスローガンです。

■三井不動産のSDGsへの貢献について

https://www.mitsufudosan.co.jp/corporate/esg_csr/

三井不動産は、「共生・共存」「多様な価値観の連繋」「持続可能な社会の実現」の理念のもと、人と地球がともに豊かになる社会を目指し、環境(E)・社会(S)・ガバナンス(G)を意識した事業推進、すなわち ESG 経営を推進しております。当社の ESG 経営をさらに加速させていくことで、日本政府が提唱する「Society 5.0」の実現や、「SDGs」の達成に大きく貢献できるものと考えています。また、2021 年 11 月には「脱炭素社会の実現」、「ダイバーシティ&インクルージョン推進」に関し、下記の通り指針を策定しました。今後も、当社は街づくりを通じた社会課題の解決に向けて取り組んでまいります。

【参考】

- ・「脱炭素社会実現に向けた行動計画を策定」

<https://www.mitsufudosan.co.jp/corporate/news/2021/1124/>

- ・「ダイバーシティ&インクルージョン推進宣言および取り組み方針を策定」

https://www.mitsufudosan.co.jp/corporate/news/2021/1129_02/

*なお、本リリースの取り組みは、SDGs(持続可能な開発目標)における3つの目標に貢献しています。

